

【学校教育目標】	《重点努力目標》
持続可能な社会を担う 柔軟で心強き 生徒の育成	基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学力の向上に努める

【研究主題】

「主体的に学習に取り組む」生徒を育成し、学力の向上を図るための授業改善

《研究で目指す生徒の姿》

学ぶ目的を明確にし、学力の向上に向けて粘り強く取り組む生徒

➡

＜目指す生徒を育成する視点＞

① 目指す授業像の共有（教員・生徒）

② 学習意欲の向上

③ 思考力・表現力・判断力等の育成

【具体的な取組と目標】

今年度も継続して取り組む事項	今年度全校で重点的に取り組む事項
【昨年度までの中心テーマ】 ☆ UD(ユニバーサルデザイン)を取り入れた「見える化」された授業 ☆ Google フォーム等を利用した振り返りシートの実践 ☆ 各学年による計画的、継続的な家庭学習の実践 【長崎県授業改善メソッド】 1 「めあて（課題）」と「まとめ」が子どもに届く授業 2 ねらいに即した「書く活動」を重視する授業 3 「学習規律の徹底」と「支持的風土の醸成」により安心して学べる授業 【三和中生徒会の取組】 ・ 「（授業前）3分前着席、2分前黙想、1分間復習」の徹底 等	★ 目指す授業像の共有（教員同士・教員と生徒） ・ 「主体的に取り組む態度」を中心に評価・指導方法の共有、視点の統一を図る。 ★ 授業研究の実施 ・ 公開授業の実施 ・ 各教科で「授業実践事例集」の作成 ★ 共通実践事項 ・ 論理的思考・表現を習慣化するための「PREP 法」の実践 →目標値：各单元 1 回以上 ・ 「Qubena」を用いた授業、家庭学習との連携 →目標値：月 200 問の Qubena 活用、全生徒の 100%達成 PREP(ﾌﾟﾚｯﾌﾟ)法 「結論」→「理由」→「具体的」→「結論」の順番の文章構成で情報を伝達する。PREP 法を使うことで「話す」「書く」どちらの場面でも、相手にわかりやすく簡潔に伝えることができる。

学力調査(全国・県・市)の結果等から、本校生徒に「身に付けさせたい力」及び「対策」

国語（河原・田浦）	社会（竹田・川口）	数学（石橋・松本）
（身に付けさせたい力） ○学習の基礎基本となる漢字や語彙の知識 ○相手や場合に応じた的確に考えを伝えることのできる力（話す・書く） ○文章を正確に読み取る力 （対策） ○下位生徒に向けての補助発問やヒントを提示する ○教師の声かけ（褒める・プラス評価） ○教材を精選し「話す」・「書く」場の設定 ○小テストや辞書・Qubena 等を活用した反復学習（Qubena は主に文法・古典での活用） ○单元ごとの「話す」「書く」の自己評価と相互評価の実施（ICT・評価表の活用）	（身に付けさせたい力） ○社会的事象を理解する力 ○グラフ・資料を読み取る力 ○社会的事象を説明する力 （対策） ○基礎基本となる重要語句の習得 ○グラフ・資料の事実から気付くことを多く表現させる ○ペアワークなどの教え合い	（身に付けさせたい力） ○正負の数の計算、簡単な文字式の計算といった基礎基本 ○計算力、見直す力 ○文章から情報を読み取る力 （対策） ○授業はじめに時間を決めてワークや Qubena に取り組ませる ○導入の工夫。定期的な小テストの実施 ○どこが間違っているかを判断する問題を授業内に行う ○教え合い（根拠を明らかにして説明し合う活動） ○キーマンバー、キーワードをチェックする。文章題に触れさせる機会を多くする
理科（小川・山本）	音楽（篠原）	美術（中右）
（身に付けさせたい力） ○興味を持って学習する力 ○科学的思考力 ○実験や観察の技能 （対策） ○導入場面で、疑問を持たせる ○PREP 法や見方・考え方カードを用いて科学的思考力の向上を図る ○生徒が自分の力で予想や考察し、周囲の生徒と議論できる場面を、各单元に設ける ○観察・実験を多く取り扱う ○Chromebook の活用	（身に付けさせたい力） ○音符や休符など、楽譜に関する基礎的な知識 ○基礎的な知識を音楽活動の中で主体的に活用しようとする力 （対策） ○用語や記号を学習する際に、成り立ちやイメージと結び付けて提示する ○期末テストで形成的評価を用いながら、繰り返し学習する機会や方法を提示する ○諸活動の中で、楽譜と結び付け、視覚的な情報を生かしながら音楽表現に取り組む機会を設定する	（身に付けさせたい力） ○自分の考えや思いを色や形に表現する力 ○目にしたものの色や形から、美的要素や美の秩序を感じ取る力 ○美術の良さや楽しさを感じ取る豊かな感性 （対策） ○彩色の技能などの基礎的な表現技能を確実に習得させる ○表現と鑑賞の学習をバランスよく配置し、感じることに表現することを効果的に連携させた学習を進める ○作品制作を通して根気強さや集中力、達成感や他者へ共感する心を養う
保健体育（松村・元村）	技術・家庭（三浦・若杉）	英語（山口・佐野）
（身に付けさせたい力） ○生涯にわたってスポーツに親しむ基礎となるスポーツを楽しむ資質や能力 ○健康の保持増進についての基本的な知識 （対策） ○授業内容の意図や目的を丁寧に伝える ○成功体験を増やし、意義を体感させる ○達成感や充実感を大切にする ○保健授業に関連する様々な場面を想定した例示の紹介を行い、健康・安全に関する知識を実生活に生かすよう促す	（身に付けさせたい力） ○基礎的な知識及び技能、また自身の取組を評価、選択、管理・運用、改良できる力 ○よりよい生活の実現に向けて、工夫し創造できる実践的な態度 （対策） ○单元ごとにまとめを行い、学習内容について振り返らせ確実な定着を図る ○授業ごとによりよい生活を営むための学習の見通しをもたせる ○ＩＣＴを活用し視覚的にわかりやすい授業実践を行い、1人1台端末の活用を通して協働的な学びを推進する	（身に付けさせたい力） ○学習の基礎基本となる語彙力 ○英語の基本的な文法を理解し、簡単な語句や文を用いて表現する力 （対策） ○毎時間「めあて」を明確にし、学習意識を高めさせる ○帯時間の活用として、Talking、Writing を取り入れ、表現活動に慣れさせる ○小テストを定期的の実施し、基礎・基本の定着を図る